

団塊世代をターゲットに初開催 横浜・総合式典の地域イベント



3人のシャンソン歌手が計13曲を披露。最後は来場者も交えて「オー・シャンゼリゼ」を合唱

横浜市内や東京都町田市などで事業展開する(株)総合式典(本社横浜市港北区、社長友部一博氏)は、09年12月9日、町田市内の貸し会館「みなみ会館」で、地域イベントとして「シャンソンコンサートと小さなお葬式」を開催した。

同社にとって初のイベントとなる今回の企画は、地域住民との交流のほか、今後主に喪主となる団塊世代に対して、従来の葬儀形式にとらわれない新たな葬送スタイルを提案し、顧客基盤の強化を図ることを目的に開催。プロのシャンソン歌手を招いたコンサートが2回行なわれたほか、別室には籐製のエコ棺やサクラの刺繍を施した死装束、スタイリッシュなミニ仏壇などを展示し、小規模ながらも高級感あふれる新たな葬送スタイルを提案した。

イベントの開催に際して、3週間前から告知チラシを約3万枚配布するなどの宣伝活動に注力したことが奏功し、当日、会場は女性を中心に計約80人が来場した。来場者からは、「暗いお葬式のイメージが払拭された」「現代



受付では手書き風POPで来場者を案内

のお葬式に新しさを感じた」などの声が聞かれ、評判は上々だった。

なお同社では、引き続き団塊世代をターゲットにしたイベントを定期的で開催していく方針で、10年2月には70年代音楽をテーマにジャズ・ポップスのコンサートを、4月にはハワイアン演奏による模擬葬儀を実施する予定。



会場となった「みなみ会館」(08年6月オープン)の式場は、最大50席の設置が可能

藤棺「シムビオシス」(写真手前)と旅立ちの衣裳「さくらさくら」「現代仏壇」などが展示された